

防府市(第3次)環境基本計画の 令和8年度中間見直しについて

1. 本市の環境・経済・社会を取り巻く状況の変化
2. 改訂の方向性
3. 今後のスケジュール

1. 本市の環境・経済・社会を取り巻く状況の変化

①各分野の状況の変化

○低炭素・脱炭素

- ・国が気候変動適応計画を策定(令和3年10月閣議決定、令和5年5月一部変更)。
農業、防災、健康等の各分野の気候変動への適応を推進する計画。
- ・国の地球温暖化対策計画(令和7年2月閣議決定で改訂)で、2035年度、2040年度の温室効果ガスを2013年度からそれぞれ60%、73%削減することを目指すことを決定。
- ・防府市においても令和5年4月に「カーボンニュートラルシティチャレンジ宣言」を行い、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロにチャレンジすることを宣言。

○循環型社会

- ・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(令和4年4月施行)で、プラスチックの資源循環の促進等を総合的かつ計画的に推進するための基本方針を策定。
- ・国が第5次循環型社会形成推進基本計画を策定(令和6年8月閣議決定)。
循環型社会への移行を重要な政策課題ととらえ、本計画を国家戦略として策定。

○生物多様性

- ・国が生物多様性国家戦略2023-2030を策定(令和5年3月閣議決定)。
2030年のネイチャーポジティブ(生物多様性の損失を止め、反転させる)の実現を目指す。
- ・国の戦略策定を受け、県が生物多様性やまぐち戦略を令和6年に改訂。新たな「目標」の設定と「施策展開の方向」の再編。

②国の環境基本計画

令和6年5月 「第6次環境基本計画」を策定

目的

「環境保全」を通じた、「現在及び将来の国民一人一人の生活の質、幸福度、ウェルビーイング、経済厚生の向上」、「人類の福祉への貢献」

ビジョン

「循環共生型社会」（環境収容力を守り環境の質を上げることによって成長・発展できる文明）

6つの重点戦略

1. 「新たな成長」を導く持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築
2. 自然資本を基盤とした国土のストックとしての価値の向上
3. 環境・経済・社会の統合的向上の実践・実装の場としての地域づくり
4. 「ウェルビーイング／高い生活の質」を実感できる安全・安心、かつ、健康で心豊かな暮らしの実現
5. 「新たな成長」を支える科学技術・イノベーションの開発・実証と社会実装
6. 環境を軸とした戦略的な国際協調の推進による国益と人類の福祉への貢献

個別分野の重点施策

1. 気候変動対策
2. 循環型社会の形成
3. 生物多様性の確保・自然共生
4. 水・大気・土壤の環境保全、環境リスクの管理
5. 基盤となる施策 ※
6. 東日本大震災からの復興・創生及び今後の大規模災害発災時の対応

※ 環境影響評価、環境研究・技術開発、
環境教育、協働取組 等

③環境意識調査の結果

令和7年7月に環境意識調査を実施(詳細は別紙参照)。結果の概要は以下のとおり。

○市民意識調査(18歳以上の市民1000人を対象、有効回収率は35.7%)

- ・脱炭素につながる取組を実施している人(デコ活の取組事例を実践している人)の割合は64.5%と高く、多くの市民が脱炭素につながる新しい暮らしに取り組んでいることが分かった。
- ・日常生活や防府市の環境の現状についての質問では、前回調査(R3年度実施)と比較して、比較可能なほぼ全ての項目で、肯定的な意見の割合が高い、あるいは同等の結果になり、市民の環境への意識が高まっていることが分かった。

○事業所意識調査(従業員4人以上の市内300事業所を対象、有効回収率は57.7%)

- ・約半数の事業所がCO₂削減につながる取組を意識して行っていると回答。
- ・事業活動や防府市の環境の現状を問う質問では、全体として、前回調査と同等の結果。

2. 改訂の方向性

改訂の方向性

現状

○計画の進捗

- ・令和13年度の目標をすでに達成しているもの、集計方法の変更を行ったもの、需要の見極めが必要になったものがある

○本市の環境・経済・社会を取り巻く状況の変化

- ・低炭素・脱炭素、循環型社会、生物多様性の分野で特に状況の変化がある
- ・国第6次環境基本計画(令和6年策定)の重点施策の体系、県第4次環境基本計画(令和3年策定・令和6年改訂)の体系は、防府市環境基本計画の体系とほぼ同じ
- ・市民の環境への意識が高まりつつある

改訂の方向性

○中間改定であることから、長期的視点を持って定めた「基本目標」、「基本方針」、「基本施策」は、現行計画を継承するものとする

○国や県の計画や、地球温暖化対策等で示された施策である「気候変動への適応」や「生物多様性」等を反映する

○環境基本計画の前期計画期間内の関連施策の取組、取組実績、基本目標に掲げた総合的な目標数値並びに各施策に定める進捗管理指標の達成状況等を反映する

計画体系と目標数値の改定案

基本目標

総合的な目標数値

「自然と調和のとれた環境の創造、明るい・豊かな郷土の継承」

基本方針

健全で恵み豊かな環境を次世代に引き継ぐための低炭素・循環型・自然共生社会の構築

市民が安心して暮らせる安全で快適な生活環境の確保

「持続可能なほうふ」を実現する人づくり・地域づくり

基本施策

基本施策ごとの
進捗管理指標

1 低炭素・脱炭素の推進

2 循環型社会の形成

3 自然環境の保全

4 生活環境の保全

5 環境に配慮し、行動できる人づくりの推進

6 ほうふの特性を活かした持続可能な地域づくりの推進

一部を見直し

施策の展開

温室効果ガスの排出削減の取組

再生可能エネルギーなどの地域資源の活用

移動・物流の低炭素化の促進

気候変動への適応(仮)

追加

廃棄物の適正処理の徹底

3Rの推進

緑と水の保全

生物多様性と緑と水の保全 (仮)

人と自然のふれあいの確保

農林水産業の基盤整備と
担い手の育成

きれいな空気の確保

きれいな水の確保

静穏の保持

環境教育・環境学習の浸透

自主的な取組と協働の輪の拡大

環境に配慮した産業の育成

拡充

3. 今後のスケジュール

今後のスケジュール(予定)

